

<校務利用> ① 生成AIを活用し、「めあて・振り返りシート」から授業・指導の改善につなげる

授業スライド	今日の目標	振り返り
授業のめあて	理解の深まりを、更に促すこと。理解の深まりを促し、必要の記法を身に付ける。行ったあとの動きも身に付ける。	
今日の目標	今日の自分の評価 結果・準備・練習 準備はA・準備の正確性 結果はB・準備の正確性 練習はB・準備の正確性	今日の自分の評価 結果・準備・練習 準備はC・準備の正確性 結果はC・準備の正確性 練習はC・準備の正確性
ボールを打つ練習を繰り返す	自分で打てる。友達にみてもらう	ボールを打つことに慣れてきた。パスを打つことに慣れてきた。友達にみてもらう。ボールを打つことに慣れてきた。友達にみてもらう。
人数が揃わない練習をする	人数に合わせた練習をする	人数が揃わない練習をする。人数が揃わない練習をする。人数が揃わない練習をする。
振り返りの動きを見てもらう	振り返りの動きを見てもらう	振り返りの動きを見てもらう。振り返りの動きを見てもらう。振り返りの動きを見てもらう。

本校における取り組みの軸である「めあて・振り返りシート」について、生徒たちが慣れてくるほど、内容が多く深くなっていく。一人一人の見取りに必要なことはもちろんながら、入力内容を俯瞰的に把握することで、次の授業における指導のポイントや改善の内容を検討することができる。

今回、生成AIの一つである

「NotebookLM」を活用し、生徒の記入内容を分析し、授業内容の改善に務めた。また、通常の見取りでは気づかなかった生徒のつまづき・課題を発見でき、まとめることで次回の授業にフィードバックを行った。

1年生 バレーボール

チャット

1年生 バレーボール

この資料は、バレーボールの授業における生徒の自己評価記録です。各生徒は、授業の目標、自身の目標、そしてその達成度をA、B、Cの3段階で自己評価し、結果、考察、練習を記述しています。評価項目にはパス技術の向上、指導の依頼、準備ができていないことなどが含まれ、生徒の自己評価や授業内容が反映されています。全体として、生徒たちはバレーボール技術の習得とチームワークの向上に努力している様子が見られます。

結果、考察、練習を記述し、今後の課題についてまとめ

この授業の記録全体を通して、生徒たちは体育の授業でバレーボールの技術向上に取り組んでおり、結果、考察、練習というフレームワークを用いて自己評価を行っています。さらに、今後の課題についても意識しています。

結果:

- 多くの生徒は、パスの技術、特にアンダーハンドパスとオーバーハンドパスの習得を目標としています。
- ラリーを続けることも重要な目標の一つです。

入力を開始します...

授業のめあてと具体的な目標を比較せよ。 生徒の自己評価における共通点と相違点を